

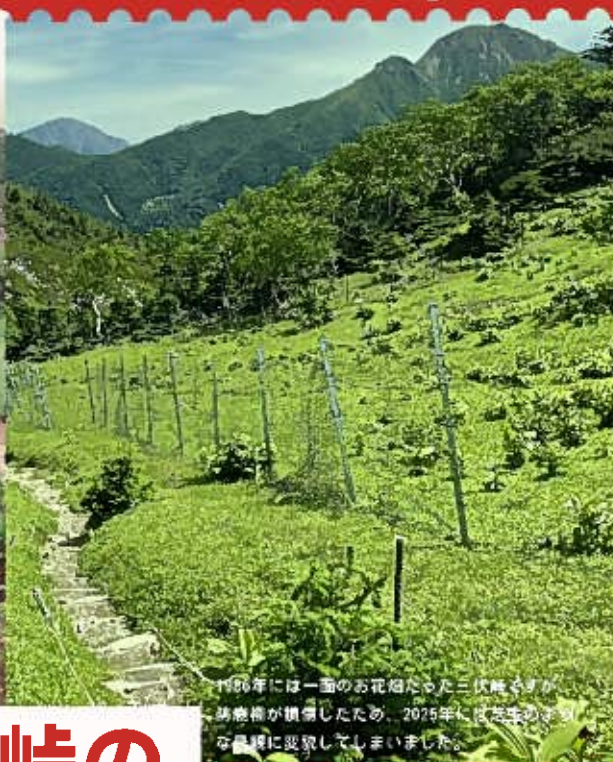
1986年

2025年

クラウドファンディング支援募集



©坂東明文



1986年には一面のお花畑だった三伏峠ですが、防鹿柵が損傷したため、2025年には花畑の姿が姿を消し、緑の草原に変わってしまいました。

南アルプス三伏峠の

お花畑を復活させたい！

日本百名山、南アルプスの塩見岳に向かう拠点として、多くの登山者を迎える三伏峠（さんぶくとうげ）。静岡県は防鹿柵を設置し、高山植物のお花畑をシカの食害から守ってきました。しかし、コロナ禍の間、作業自粛を強いられたことで、三伏峠の柵が損傷し、東側のお花畑がほとんど失われてしまいました。お花畑の消失は、ライチョウや蝶などの生息環境を脅かすほか、放置すれば地面が剥き出しとなり、将来に渡って植生が失われるおそれがあります。

募集期間

2026年6月12日（金）

～11月16日（月）

目標金額

300万円

寄附の方法

「YAMAPふるさと納税」の静岡県防鹿柵再整備プロジェクトの詳細ページからお申込みください。



▲YAMAP ふるさと納税



▲寄附の申込や、プロジェクト詳細は、こちらのQRコードをスキャンしてご確認ください！

Thank you!

静岡県防鹿柵再整備プロジェクト

失われたお花畑を復活させるため、損傷した防鹿柵を撤去し、早急に新たな柵を設置する再整備が必要となっています。しかし、総事業費は700万円以上（推定）であり、限られた予算内では対応が困難です。このため、静岡県は、株式会社ヤママップと連携して、ふるさと納税によるクラウドファンディングに取り組みます。かつて「天下一品」とうたわれた三伏峠を守るため、ご協力をお願いします。



左上 現在の三伏峠
中央（写真奥）のお花畑はほとんど消失しています
右上 雪の重みで倒れてしまった中央の防鹿柵
再整備に当たっては、雪に強い工法を検討します
左下 稜線近くで確認されたニホンジカの群れ

寄附金の使い道

- ・撤去した柵の処分、撤去により生じた開口部を閉じるための柵の設置(一次復旧)に要する費用
- ・再整備する柵の資材購入、ヘリコプターによる荷揚げ費用
- ・作業に携わるボランティアの活動費用



作業の進捗を踏まえ、2027年以降に、より広範囲を囲う二次復旧を実施します。

※目標金額を達成するかどうかに関わらず、いただいた寄附金は本プロジェクトに関わる事業費として活用します。

プロジェクトを応援する声



南アルプス高山植物保護
ボランティアネットワーク
鶴飼一博さん

約20年前から三伏峠のお花畑の保護に携わってきました。まるでゴルフ場のグリーンのような三伏峠は、防鹿柵の設置によって元のお花畑に戻りつつあります。数万年の歴史の結果が凝縮されたお花畑を次の世代に引き継ぐため、防鹿柵の再整備が必要です。皆さまのご支援をお願いします。

ふるさと納税を通じてこのプロジェクトを応援！

居住地を問わず、このプロジェクトへのご寄附はふるさと納税として、控除上限額内の2,000円を超える部分について、所得税の還付、住民税の控除が受けられます。

寄附者名の掲載

本プロジェクトへのご寄附に対して、お礼の品はお送りしていませんが、南アルプスへの想いに感謝し、お名前等をプロジェクトの報告書などに掲載し、三伏峠小屋などで掲示します（希望者のみ）。

寄附の方法

 **YAMAP ふるさと納税**

寄附の申込は、こちらのQRコードから！
「YAMAPふるさと納税」は、山や自然に特化したふるさと納税サービスです。



お問合せ

静岡県自然保護課 〒420-8601 静岡県静岡市葵区追手町9-6

TEL:054-221-2963 FAX:054-221-3278 MAIL:shizenhogo@pref.shizuoka.lg.jp